

「第5回CIO補佐官講座」開催報告

一般社団法人 行政情報システム研究所

当研究所主催の第5回CIO補佐官講座が、平成27年9月2日～4日の3日間にわたり開催されました。本講座は、政府のCIO補佐官業務に関心のある方を対象に、同業務に必要な不可欠な知識を習得する場として過去4回にわたり実施してきたものです。

政府のCIO補佐官として、行政の情報化とこれを通じた行政事務の高度化・効率化及び行政サービスの向上を担うには、ベンダー（提供）側ではなく利用者（調達）側に立った知識を身につける必要があります。このため、本講座は、行政情報システムの効果的な活用に必要な日本政府的な仕組みと行政情報システムに関する最先端の動向への理解を深めていただくことを目的としています。（図表1参照）

本講座は、現役のCIO補佐官、政府職員、元職

員など実務に精通した講師陣による実践的な講座となっており、専門性と実践性を備えた、他に類を見ないオリジナリティの高い内容となっています。

具体的には、行政組織内においてCIO補佐官業務を遂行するために必須となる、国の機関特有の制度や政策、組織文化、情報システム構成等の基礎知識/スキルを習得するための講義を「CIO補佐官基礎知識」として用意。また、CIO補佐官が行政機関において、改革のビジョンを掲げ、実際の業務・ITの革新をリードしていくために必要となる、先端的な方法論や外国政府での取組み、改革事例等の応用知識/スキルを身に付けるための講義を「CIO補佐官応用知識」として用意しました。（図表2参照）

図表1 第5回CIO補佐官講座 開催要領

【期間】 2015年9月2日(水)～4日(金) (3日間)

【場所】 霞が関ナレッジスクエア (東京都千代田区霞が関3-2-1 霞が関コモンゲート)

【受講者数】 計26名

【講師】 現役CIO補佐官5名、現役政府職員1名、元政府職員（現大学教員）3名



図表2 第5回CIO補佐官講座 カリキュラム

	9/2(水)		9/3(木)		9/4(金)	
1限 9:30 - 11:00	オリエンテーション		行政における人事制度	元政府職員・大学教授	ビジネス・プロセス・マネジメント	現役政府CIO補佐官
2限 11:20 - 12:50	わが国の行政情報システムの概論	元政府職員・大学教授	業務改革事例	現役政府職員	エンタープライズアーキテクチャ	元政府職員・大学教授
昼食						
3限 13:50 - 15:20	電子政府政策概説	現役政府職員	求められる行政CIOとCIO補佐官像	現役政府CIO補佐官	ネットワーク技術とセキュリティ	現役政府CIO補佐官
4限 15:40 - 17:10	予算会計制度の現状と課題	元政府職員・大学教授	政府におけるITガバナンス、投資管理および情報システム調達(WS)	現役政府CIO補佐官(2名)	CIO補佐官による討論会	元政府職員・大学教授 現役政府CIO補佐官(3名)
5限 17:30 - 19:00	オープンガバメント/ユーザーセントリックな行政サービスの実施	現役政府CIO補佐官			セミナー評価・感想 解散式(修了証書授与式)	
終了後	懇談会(有志)			懇談会		

WS: Workshop形式を取り入れる講座

<スキル凡例>

CIO補佐官基礎知識: CIO補佐官業務を遂行するために必須となる基礎知識/スキル
CIO補佐官応用知識: CIO補佐官としての専門性を発揮するために必須となる応用知識/スキル
パネルディスカッション等

その上で、より実践的なノウハウや現場感覚を身に付けるためのワークショップや、現役CIO補佐官と意見交換や質疑応答をする場としての討論会等を設けました。

例えば、ワークショップでは、架空のシステム開発案件の想定の下、CIO補佐官役、行政の調達担当者役など、いくつかの役割に分かれてロールプレイを行い、それぞれの視点の違いを実体験するとともに、グループでの意見交換や講師の解説等を通じて、それぞれに必要な視点について理解を深めました。(写真1参照)

また、CIO補佐官による討論会では、CIO補佐

官になったきっかけ、仕事のやりがいと続ける理由、仕事の実際と進め方、役所組織の特殊性と仕事の難しさ、将来のキャリアパス等様々なテーマについて、率直な意見交換や質疑応答が交わされ、CIO補佐官としての職務の実際や、現状のCIO補佐官制度に関して感じている問題意識の一端を垣間見る機会となりました。(写真2参照)

講座終了後のアンケートでは、9割近くの受講生が、コース内容やコース運営が「大変役立つ」「大変良い」と回答するなど、非常に高い評価が寄せられました。(図表3参照)

写真1 ワークショップの様子



写真2 討論会の様子



図表3 受講生からのコメント（一部）

- ・ 我が国の政府CIO制度の現状や課題を現場の声として知ることができ、大変貴重な機会となりました。
- ・ 自身がCIO補佐官となるための条件や求められる資質を知ることが出来ました。
- ・ 体系立っており、かつ各講師の方々の生のお話を伺って非常に有意義でした。
- ・ CIO補佐官の現場がよくわかりました
- ・ どれも具体的な、本音ベースの話が聞けて良かった。
- ・ 想像していたよりも広い範囲での活動をされていることを知り、大変な職業だと感じた。

他方、3日間・終日の拘束は、体力的に、あるいは業務調整上困難であり、平日夜での分散開催など他の開催方法を要望する、といった声も寄せられました。

今回のCIO補佐官講座は、受講生にとって、電子政府の取り組みにおけるCIO補佐官業務の実際を理解するのに役立っただけでなく、CIO補佐官への途も含め、今後の自分自身のキャリアを見つめ直すきっかけになったようです。実際に、懇談会等の場でもそうした声を何度も耳にしました。

今後も当研究所としては、上記のようなフィードバック等を今後の普及啓発事業の改善や見直しに活かしながら、本講座のようなセミナーも含め、電子政府の推進に向けた様々な事業を推進していきます。

最後に、本講座の監修および各講義のファシリテートを担当いただいた東京大学公共政策大学院の奥村先生はじめ、各講義を担当いただいた講師各位、本講座を受講いただいた受講生各位に感謝申し上げます。（写真3参照）

写真3 講師陣と受講生の集合写真

